

糖尿病対策の強化 ～令和4年度の進捗、今後の計画～

【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。

【ステップ2（令和4年度4月～10月）】

計画	実績・進捗
1 医療機関に重点を置いた本事業の継続的周知 2 事業利用者に対する介入効果の見える化 3 関係支援者の力量形成 4 医療機関—地域支援者間の連携強化 上記4点について、「南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト推進チーム会議」にて具体策を検討し、地域一丸となった取り組みを推進していく。	【事業利用者】 ・令和4年4月以降は、6名が事業利用している状況。 ・事業開始時からの指示票は168件、報告票は253件。 （いずれも事務局に報告があった数） 【普及啓発】 ・5月にプロジェクトの流れを示したリーフレットを刷新し、管内医療機関・各町へ配布した。事業対象者への説明資料として活用するとともに、支援者が事業を理解するための資料として活用している。 ・リンクルみなみひやま（10月号）に糖尿病と人工透析をテーマにした記事を掲載し、管内5町に全戸配布した。 【南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト推進チーム会議】 ・8月に会議を予定していたが、延期。 【実態把握】 ・6～8月にかけて管内の医療機関及び各町の事業担当者に対してヒアリングを行い、効果や課題を整理した。

【ステップ2（令和4年度11月～3月）】

計画
<ul style="list-style-type: none"> ・更新したリーフレットの配布状況等を把握し、普及啓発媒体の活用効果について評価する。 ・南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト推進チーム会議を開催し、事業の効果的な運用について検討する。 （糖尿病手帳の活用推進、支援者の力量形成、効果的な事業周知の検討…）